

ユーラシアンホットライン

2月にサハ共和国「テティム創設5周年コンサート」、6月から7月まで、「サハ共和国訪問」「サハ共和国女子太鼓研修団キース・ホトン招聘」そして「第5回愛川町音楽祭」とサハ一色と思われる忙しい時期を過ごしました。その間、私が住む愛川町のまちづくりの政策提案でもひと騒動ありましたが。今回は、それぞれ、写真特集といった感じのご報告をいたします。

サハ共和国夏至祭り訪問。「大野遼湖」決定！—2014年6月19日～24日



ハトラエフ夫妻と交流し始めて18年。私が通信社記者として初めてシベリアの少数民族を取材して30年。国家民族宗教を超えて民族の共生・自然との共生を模索するユーラシアンクラブを創設して22年。サハ共和国のアドレイ・サービッチ・ボリソフ文化大臣の音楽劇「キース・デビリエ」を彩の国さいたま芸術劇場大ホールでわずか一か月で日本語版総合プロデュースしたのが2005年。2006年11月国民栄誉賞を受賞した時に決まったのが「湖の贈与」。その後、ゲルマンさんが、「湖の側に民族音楽センターを企画している」ことを知り、テティム創設5周年で今年2月訪問の際、文化大臣に確認したところ「6月の夏至祭りに来られれば一緒に探そう」との提案があり、仲間12人と一緒に訪問した。この湖周辺にユーラシアンクラブと愛川町の交流拠点、そしてゲルマンさんの「民族音楽センター」がテティムの両親、文化省の協力で設置されるだろう。



ロシア連邦サハ共和国女子太鼓集団「キース・ホトン」来日。 愛川町和太鼓研修・第5回愛川町音楽祭開催—2014年7月20-29日





ロシア連邦サハ共和国女子太鼓集団「キース・ホトン」。第3回愛川町和太鼓研修事業・第5回中津川弁財天愛川町音楽祭「アジア・シルクロード音楽フェスティバル」笛と太鼓の祭典」写真は諏訪部勲氏、小島正吾氏提供。



＜バイオマス産業社会ネットワーク (BIN) 第 134 回研究会のご案内＞

日 時：2014 年 8 月 27 日 (水) 17:00～19:00
テーマ：「電気事業法の改正と廃棄物発電の今後の見通し (仮題)」
講演者：伊藤恵治氏 (一般財団法人日本環境衛生センター総局企画・再生可能エネルギー事業部部長)
会 場：地球環境パートナーシッププラザ
(東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F)
地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分
<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

※2012 年 7 月に再生可能エネルギー電力固定価格買取制度 (FIT) が始まって、2 年がたちました。バイオマス発電も順調に認定・稼働数が増加しており、その中でも廃棄物発電は 3 割程度を占めています。※これまで行政による処理が主流だった一般廃棄物ですが、日本の再生可能エネルギーを考えるなかで、バイオマス由来の廃棄

物を資源として見直し、効率的で経済的な活用を進めていくことは非常に重要だと考えられます。※また、6 月に改正電力事業法が可決され、電力小売や発電が完全自由化します。この改正による影響や、廃棄物のエネルギー利用をめぐる新しい取り組みなどについて、日本環境衛生センター総局企画・再生可能エネルギー事業部部長の伊藤恵治氏に伺います。※多数の参加者の皆様とともに、廃棄物の有効活用について、活発な議論ができれば幸いです。

※参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

※サーバーの不調等で送信できない場合は、お手数ですがお名前、お名前ふりがな、ご所属、電話番号、E-mail アドレスをご記入いただき、E-mail : mail@npobinn.net までお送りいただければ幸いです。

【マレーシア通信】第 2 2 号 マレーシアの海水浴事情 プルヘンティアン島&レダン島

板坂 優一

● 板坂 優一：1983 年生まれ。北海道出身。2009 年の冬からバックパックとギターを背負って中国からシリアまでアジア横断の旅へ。そこで見た『イスラムの世界』に魅せられ、現在マレーシアのペナンにてアジアの文化、特にイスラム圏について宗教、社会などの勉強をしている。

夏といえば海。暑い日は海でぶのが一番だ。意外と知られてなかも知れないが、マレーシア海岸に浮かぶ小さな島々は世界数のダイビングスポットとして年々国際的な人気を集めている。海には豊富な珊瑚はもちろんの色とりどりの様々な生き物が生



して、海の透明度は申し分い程高く、シュノーケリングだけでも十分楽しめてしまう。マレー半島東海岸の島々はレダン島海洋公園に指定されていて、珊瑚やウミガメの保護などを目的とした活動が行われている。今回は数ある島々の中でも私が行ったことがあるプルヘンティアン島とレダン島を紹介しよう。

プルヘンティアンはマレー語で『停泊所』と言う意味で、島の名前の由来は、昔、タイのバンコクとマレーシアの貿易商人達が一度停泊する所から来ている。また 1970 年代はベトナム

戦争にから逃れた大のベトナム人難民達がの島に避難したようだ。

プルヘンティアン島はクチル (小) 島とビール (大) 島の 2 つの島があり、どちらの島にもとても美しいビーチが



がっている。ビサールには高級リゾートホテルが立ち並び、ラグジュアリーなひとときを楽しみたいならうってつけの所だろう。一方、クチルにはバックパッカー向けの安いゲストハウスやシャレー (小屋) が多くあり、安価で楽しめるリゾートとしてヨーロッパ等からのバックパッカーや若いマレーシア人に人気だ。もちろんビーチ沿いにはお洒落なレスト

ランやバーもあるので、南国の雰囲気味わいながら一杯、というのなかなか乙なものだろう。海は申し分なく美しく、生き物も多彩かつ豊富で、海に魚の餌を投げ入れるともものすごい数の魚がやって来る。プルヘンティアン島は観光業の開発により、西洋化が進んでいるが、ほのぼのとした感じと何より海が素敵な島だ。

レダン島は海洋公園の中でも一番大きな島で、高級リゾート地として有名だ。またレダン島はダイビングが有名で、視界の良さや自然の豊富さ等で世界中のダイバーが集まる島でもある。この島ではとにかく海で遊ぶ事しか無い。

レダンにあるゲストハウス並のホテルから超高級ホテルまで全て完全予約制で、一般的には 2 泊 3 日、毎日 3 食+おやつ付き、シュノーケリングツアー付きのバックになっている。というのもレダン島にはレストラン、商店などの商業施設が一部の高級ホテ

ルを除いて一切ない。安いホテルでは売店すら無い。また面白いことに、島内には道が無く、島内を歩いて移動することが出来ない。ボートタクシーが唯一の移動手段なのでビーチで遊ぶか、シュノーケリングツアーに参加する以外することは何も無く、旅行者にとってはまさに孤島で宿泊というより、合宿している気分を味わう。もちろん酒類は高級ホテル以外無い。安宿に泊まる若い旅行者達の中、こういった合宿生活に耐え切れず、パブやバーを求めて夜な夜なボートで高級ホテルへ出かける人

も少なくないようだ。レダンの良さは海はもちろんの事、安い宿ではまるでホームステイしている様な感覚で、スタッフとの親密なコミュニケーションが取れるのが魅力的だ。

この他にもティオマン島等の美しい南の島々があり、シーズンになると世界中からこれらの島々を楽しみに大勢の旅行者がやって来る。この夏はマレーシアの島々で極上の海水浴を体験してみたいだろうか。ちなみにペナン島の海は残念ながら汚いので海水浴はオススメできない。

メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。

【北アジア】

●ロシア、大規模演習実施を発表 ウクライナ政府を威嚇か

2014. 8. 4 22:06

【モスクワ=佐々木正明】ロシア軍は4日、ウクライナと国境を接する西部、中部の軍管区で大規模空軍演習を開始すると発表した。露国防省によると、軍事演習には戦闘機やヘリコプターなど100機以上が参加し、8日まで行われる。ウクライナ東部の戦闘で、同国軍が親ロシア派武装勢力に対して攻勢に出る中、ウクライナを威嚇する狙いがあるようだ。

政府軍の攻勢により、ウクライナ東部における親露派の支配領域は最大時の4分の1にまで縮小。親露派はドネツクを中心とする地域とルガンスク州内の地域の2つに分断された。ドネツク側は政府軍に包囲されており、武器や戦闘員の補給が断たれる可能性がある。

ウクライナの地元メディアは3日、ドネツク郊外で「大規模

な戦闘」が始まったと報じた。ドネツクでは4日未明、砲撃音が鳴り響き、市街戦への発展を恐れる多数の住民らが鉄道などで避難を始めているという。

一方、マレーシア航空機墜落事件の墜落現場では、1日からオランダ、オーストラリアからきた関係者らで構成される調査団が入り、真相究明に向けた現地調査が始まった。

しかし、ウクライナ国防当局によると、3日には調査地域から約2キロ離れた地点で砲撃があり、調査は中断。親露派は空中からの小型無人機による捜索活動を拒むなど、原因調査のための活動は十分に行われているとはいえない。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140804/erp14080422060003-n1.htm>



【西アジア】

●パレスチナ側が停戦延長拒否へ、イスラエルにガザからロケット弾

【カイロ/ガザ/エルサレム 8日 ロイター】 - エジプトが仲介して行われている、パレスチナ自治区ガザをめぐるイスラエルとパレスチナ側との協議は、72時間の停戦終了を目前に、なお合意に達していない。こうしたなか、イスラエル南部に8日早朝、パレスチナ自治区ガザから発射されたロケット弾2発が着弾した。イスラエル軍が明らかにした。

パレスチナの関係筋が7日、カイロで明らかにしたところでは、パレスチナ側は停戦延長を拒否する可能性があるという。

この代表団関係者は匿名を条件に、交渉が難航しており、最終的な結論には達していないと指摘。その上で「停戦延長は拒

否されそうだ」と語った。

イスラエル軍報道官によると、ロケット弾はガザとの境界に近い空き地に着弾した。けが人や物的被害はなかったという。

ただ、ガザからのロケット弾発射について、同地域を実効支配するイスラム原理主義組織ハマスはロケット弾の発射を否定した。

http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPKBNOG80D620140808?feedType=RSS&feedName=topNews&utm_source=twitterfeed&utm_medium=twitter&utm_campaign=Feed%3A+reuters%2FJPTopNews+%28News+%2F+JP+%2F+Top+News%29&rpc=188

【中央アジア】

● アフガン大統領選、決選2候補に不協和音 再集計が停滞
2014. 7. 28 10:06 (1/2 ページ) [米国]

【ニューデリー=岩田智雄】大統領選の決選投票の再集計が進むアフガニスタンで、新大統領就任後に発足させる挙国一致内閣のあり方について、ガニ元財務相、アブドラ元外相の両候補の間で不協和音が表面化している。双方は票の再集計の手法

| | | |
|-------|---------------------|--|
| 主な動き | 4月5日 | 大統領選投票 |
| | 6月14日 | ガニ、アブドラ両氏による大統領選決選投票 |
| | 7月7日 | 選管、ガニ氏が56.44%を得票し優勢との暫定集計結果を発表。アブドラ氏は結果受け入れを拒否 |
| | 17日 | 米国の調停を受け、全投票の調査が始まる |
| | 8月最終週 | 新大統領就任予定 |
| | 9月4~5日 | NATO首脳会議 |
| 今年末まで | 国際治安支援部隊 (ISAF) が撤退 | |

でも対立、26 日には作業が 3 度目の停止に追い込まれるなど、来年以降の駐留継続を目指す米国をやきもきさせている。

決選投票では、暫定結果 2 位のアブドラ氏が不正を訴え、ケリー米国務長官の調停により全ての票を再集計し、最終結果発表後に両候補が挙国一致内閣を樹立することで合意していた。

外交筋によれば、挙国一致内閣案は敗者が行政長官となり、約 2 年後のロヤ・ジルガ（国民大会議）での憲法改正を経て新ポストの首相に就任するという内容。取材に対し、アブドラ氏陣営の関係者は合意案を認めたが、暫定結果 1 位のガニ氏の陣営幹部は「制度変更については合意していない」と明らかにした。

米国など北大西洋条約機構（NATO）加盟国は、国際治安支援部隊（ISAF）撤退後の駐留枠組みを 9 月上旬の首脳会議で協議する。それに先立ち、8 月最終週に就任予定の新大統領と駐留兵の地位を定める協定に署名する意向だ。

しかし、17 日に始まった票の再集計は無効票の判定法めぐり対立し、27 日からの週の後半まで停止された。対象の約 2 万 3 千個の投票箱のうち 1 3 0 0 箱余りしか検査が終わっておらず、波乱含みの様相だ。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140728/amr14072810060003-n1.htm>

●ネパールの地滑りの不明者 150 人か

2014.8.3 23:35

ネパール東部シンドゥパルチョーク地区で 2 日に起きた地滑りによる行方不明者についてネパール政府当局者は 3 日、約 150 人に上る可能性があると言った。死者は 10 人になった。

【南アジア】

●ガンジスのほといで 暴露された「内なる声」

2014.8.5 03:05 [外信コラム]

インドの主要政党、国民会議派のソニア・ガンジー総裁が 2004 年の総選挙で党を勝利に導いた際に首相に就任しなかったのは、息子のラフル・ガンジー氏から暗殺されたラフル氏の父や祖母のようになってほしくないと言われたためだったとする暴露本が出版され、物議を醸している。

本を書いたのは、会議派の元重鎮、ナトワル・シン元外相（83）。ソニア氏は当時、首相にマンモハン・シン氏を起用したことについて、「内なる声」に従ったとしているが、ナトワル氏の話が事実なら、今春の総選挙で惨敗して野党に転落した会議派のイメージをさらに傷つけかねない。

会議派の広報担当者やシン前首相は「ばかげている」「本を売

【東南アジア】

●タイ 暫定議会メンバーを公表 過半数が軍関係者

2014.8.1 01:01

クーデターによる軍事政権下にあるタイで 31 日、暫定憲法に基づく暫定議会のメンバー 200 人が公表された。軍政が提出したリストをプミボン国王が承認した。暫定議会は民政復帰に向けて暫定首相指名や立法措置を行うが、過半数を退役や現役の軍人が占めており、軍政色が強いかたちとなった。国際社

現場では地滑りの土砂が川をせき止めてダムようになり、洪水が起きる危険性があるという。インドのメディアによると、川の下流に位置するインド東部ビハール州の政府は流域の住民数万人を避難させた。

ネパールの警察当局者は 2 日、地滑りでせき止められて増水した川の泥流が村をのみ込んだと説明していたが、政府当局者によると村は地滑りで流されたという。（共同）

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140803/asi14080323350003-n1.htm>

●印首相、ネパール訪問 中国念頭、隣国重視が強調

2014.8.3 15:31 [中国]

インドのモディ首相は 3 日、同国首相として 17 年ぶりにネパールを公式訪問した。就任から約 2 カ月間で、ブータン、ネパールと伝統的に関係の深い隣の小国を相次ぎ訪問。台頭する中国をにらみ、近隣外交を重視する姿勢を鮮明にしている。

ネパールは 1996 年以降の内戦や立憲君主制の廃止で国内が混迷し、インドは距離を置いてきた。一方、中国は経済面でネパールでの存在感が大きくなったほか、インドとネパールが接するチベットで鉄道などのインフラ整備を進めている。

モディ氏はネパールのコイララ首相との会談で、インフラ開発の協力などで合意。ネパール制憲議会で演説し、10 億ドル（約 1 千億円）の信用供与を行うと表明して関係再構築をアピールした。（共同）

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140803/asi14080315310002-n1.htm>

るための手段だ」と反発し、ソニア氏は「自ら本を書いてすべてを明らかにする」と述べた。ナトワル氏は、ソニア氏の反応に「痛いところを突かれたからだ」と勝ち誇っている。

ナトワル氏は実は、04 年の外相就任後、イラクのフセイン政権下で起きた石油食糧交換プログラムの不正に関わっていたとして国連から批判され、会議派から放逐された。ソニア氏への恨みは相当なようで「インド人なら私をこのように扱わない」とイタリア出身のソニア氏を攻撃している。ソニア氏の自伝出版が待ち遠しい。（岩田智雄）

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140805/asi14080503050001-n1.htm>



会から批判が出ることも予想される。

暫定議会は 8 月 7 日に開会し、暫定首相を選出する予定。暫定首相にはクーデターで全権を掌握した「国家平和秩序評議会（NCPO）」議長のプラユット陸軍司令官が就任するとみられている。（共同）

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140801/asi14080101010001-n1.htm>

●タイへの旅行者激減 政情不安で業界悲鳴

2014.7.20 16:40

世界的な観光地として知られるタイの首都バンコクを訪れる外国人旅行者が 2014 年に入り、激減していることが 20 日、分かった。デモやクーデターによる政情不安の影響。首位を 4 年間守ってきた米旅行誌の人気観光都市ランキングで 14 年はトップ 10 圏外に転落し、タイの主要産業を支える観光業界から悲鳴が上がっている。

タイ旅行業協会 (ATTA) によると、14 年上半期 (1~6 月)、バンコク国際空港から入国した外国人旅行者は前年同期

比約 4 割減の約 130 万人だった。

アジアからの旅行者減少が顕著で、5 月下旬のクーデター直後の 6 月は、日本人旅行者が前年同月比 7 割減の約 6 千人。香港やマレーシアは 9 割減、中国も 7 割減と落ち込んだ。ATTA 副会長のアネーク氏は「反政府デモやクーデター、夜間外出禁止令の影響だ」と指摘した (共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140720/asi1407201640001-n1.htm>

【東アジア】

●新疆暴動死者は 96 人 09 年ウルムチ以来の規模

2014.8.3 11:00

中国新疆ウイグル自治区カシュガル地区ヤルカンド県で 7 月 28 日に起きた暴動は、死者が計 96 人に上る大規模なものだったことが分かった。自治区の公式ニュースサイト「天山網」が 3 日までに伝えた。

自治区当局が 2 日に開催した対策会議によると、市民の死者 37 人のうち漢族が 35 人、ウイグル族が 2 人。13 人が負傷した。「暴徒」側の死者は 59 人。ウイグル族をめぐる暴動や殺傷事件としては、1977 人が死亡した 2009 年のウルムチ暴動以来の規模となる。

当局は「内外のテロ組織が結託して実施した」テロと断定した。ウイグル族の反政府活動に対する習近平指導部の強硬な姿勢が、事件や暴動頻発の背景にあるとみる専門家も多い。

自治区当局は計 215 人を拘束、事件の背景を調べている。事件では、地元の警察派出所や政府庁舎などが襲撃され、村長らが殺害された。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140803/chn1408031100002-n1.htm>

●イスラム服は乗車禁止 中国、新疆のバス

2014.8.6 00:28 [中国]

中国新疆ウイグル自治区カラマイ市の当局は 5 日までに、テロ対策の一環として、イスラム教徒の伝統的な衣装を着用した人などがバスに乗るのを禁じる措置を始めた。地元メディアが伝えた。

頭や顔を覆う衣装を着たり、ひげをたくさん生やしたりしている人はバスに乗れない。自治区のスポーツ大会の開催に伴い警備を強めるため、20 日までの措置だという。

同自治区ではイスラム教徒によるとみられる暴力事件が相次いでいる。ただ少数民族の文化を否定するようなやり方には反発も予想される。(共同)

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140806/chn14080600280001-n1.htm>

●金正恩氏の元「後見人」で「金庫番」 ARF 出席の北朝鮮外相、言動に注目

2014.8.4 08:56 (1/2 ページ)

【ソウル=名村隆寛】10 日にミャンマーで開かれる東南アジア諸国連合 (ASEAN) 地域フォーラム (ARF) 閣僚会議に出席する見通しの北朝鮮の李洙● (リ・スヨン) 外相は今

年 4 月、最高人民会議 (国会に相当) で外相に就任したばかりだが、金正恩 (キム・ジョンウン) 第 1 書記との「近さ」からその言動が注目される。

金第 1 書記が 1990 年代後半にスイスに留学していた当時、李外相はスイス大使として金第 1 書記とその妹、与正 (ヨジョン) 氏の「後見人」の役割を務めていた。また、「リ・チョル」との偽名を使い、金正日 (ジョンイル) 総書記の秘密資金を管理する金ファミリーの「金庫番」の役割を果たしていたとされる。

金第 1 書記の叔父、張成沢 (チャン・ソンテク) 氏が昨年 12 月に粛清された際には、張氏に近いとされ一部で失脚説も流れたが、その後、外相に抜擢 (ぼってき)。「スイス時代からの金第 1 書記との縁による起用」(ソウルの情報筋) とみられている。

李外相の本格的な国際会議出席は、今回の ARF 閣僚会議が初めてで、事実上の国際社会デビューとなる。北朝鮮は米国や韓国への非難に加え、最近では中国への間接的な批判を繰り返す一方で、対日接近など「対話」の姿勢も見せている。

北朝鮮では、最高指導者の金第 1 書記に権力が集中しており、外相の実権はないに等しい。ただ、留学時代からの金第 1 書記との近さや、金総書記からの代を継いだ関係により、金第 1 書記の李外相に対する信頼度は極めて高い。

国際舞台での李外相の言動には、金第 1 書記の意向が百パーセント反映されるとみられ、ARF 閣僚会議での李外相の発言から北朝鮮の外交姿勢がうかがえそうだ。

北朝鮮メディアによると、李外相は 2 日に平壤を出発。ARF 閣僚会議が開かれるミャンマーのほか、ラオス、ベトナム、インドネシア、シンガポールを歴訪するという。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140804/kor14080408560003-n1.htm>

●拉致被害者、市川修一さんの父、平さん死去 99 歳 「悔しくてたまらない」

2014.8.4 20:51

拉致被害者、市川修一さんの父、市川平 (いちかわ・たいら) さんが 4 日午後 0 時半ごろ、脳梗塞のため鹿児島県鹿屋市の介護施設で死去した。99 歳。通夜は 5 日午後 6 時、葬儀・告別式は 6 日午前 10 時半、鹿児島県鹿屋市輝北町上百引 1934、上村葬祭輝北斎場で。喪主は長男、健一 (けんいち) さん。政府が認定する拉致被害者の両親の中では最高齢だった。

拉致被害者らの再調査が始まってちょうど1カ月での死だった。北朝鮮から最初の報告が間もなくもたらされる見込みで、健一さん(69)が最期まで「頑張れ、頑張れ」と呼びかけたが、平さんが再び目を覚ますことはなかった。

修一さんは昭和53年8月12日、鹿児島県の吹上浜で交際中の増元のみ子さん＝拉致当時(24)＝とともに拉致された。失踪直後は修一さんの手がかりを求めため、テレビ番組にも出演。だが、消息は長く分からず、修一さんのことを口にすることは次第に少なくなった。

拉致される数年前、親子3人で初めて酒を酌み交わした。いつになくうれしそうにグラスを傾けた平さんの姿を思い出し、健一さんは息子を北朝鮮に連れ去られた父の気持ちを押し量る。「僕たち兄弟でも苦しかった。それが親だったら、どれだけつらかっただろう」

修一さんについて「死亡した」とする北朝鮮の説明には根拠がなく、健一さんは修一さんと両親を合わせるために奔走したが、平成20年に母のトミさんが91歳で死去。平さんも22年に脳梗塞で倒れ、認知症の症状が出始めた。健一さんは「高齢の父に修一のことを思い出させていいものか」と、拉致問題の話題を避けるようになった。

救出運動の最前線に立つことはなかった平さんだが、修一さんのことを常に気にかけていた。修一さんと平さんの再会を夢見ていた健一さんは「修一が帰ってくるまで頑張っしてほしいと思っていたけれど、こういう結果になって悔しくてたまらない」と無念そうに話した。

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/140804/kor14080413440005-n1.htm>

【シカチアリャン村で展示資料受け取り。ツアー参加者の協力で持ち帰り、民博に届ける】

ユーラシアンクラブは、サハ共和国訪問に先立ち、来年数か所で展示会を計画中のシカチアリャン村を訪問し、村のユーラシアンクラブ会員ビクトリア・ドンカンさんが収集した展示用の民族資料(衣装、漁具、聖霊等民族信仰資料、太鼓等)を参加者の協力を仰いで持ち帰り、7月7日、大阪の国立民族学博物館で開催された展示会実行委員会で紹介しました。この二年間で収集された展示資料は70数品目となりました。また、展示会の目玉となる、シカチアリャン村の岸辺に存在する岩絵を紹介する拓本については、国立民族学博物館で全て画像化されました。

展示会の開催準備はこれから本格的に進めることとなります。

以下、写真で、シカチアリャン村訪問の様子を紹介します。写真は、浅井正智、畠山禎、永田真一各氏から頂きました。





シカチアリャン村へは、6月17日ハバロフスク空港に迎えてくれたビクトリア・ドンカンさんをはじめ村人の車3台に分乗して、直接シカチアリャン村に入りました。宿泊先は、当初ホームステイを計画していましたが、受け入れ環境が不十分と判断して、小学校に宿泊。食事も小学校の食堂で摂ったほか、村の友人たちの援助を受け、自前のサウナにも招待されました。村では、友人、知人たちが眠るお墓詣りの後、ユーラシアンクラブのキャンプも視察しました。以前は宿泊可能であったキャンプもこの10年の間に荒廃し、修復が必要な状態です。今は大野遼の個人所有になっているこのキャンプを、ユーラシアンクラブに贈与し、ユーラシアンクラブとビクトリア・ドンカンさんが立ち上げるNPO法人「友情」が協定書を交わし、交流と村の自立に役立つ観光拠点として使用される方向で準備しており、「贈与」の手続きをビクトリア・ドンカンさんに委託する法的文書をハバロフスクの公証人役場で作成してきました。



シカチアリャン村のキャンプは、村外れのアムール川の岸辺にあり、周囲を丈夫な金属製網で囲まれ、井戸、サウナ、トイレ、7棟の建物がありました。取壊した建物もありますが、土台はそのまま利用して新築することは可能です。現在検討中です。下は傷んで修復が必要な建物。リュウダさんの家でのパーティ。



【サハ共和国訪問記】

最もエネルギーに満ちた日の出を遥拝する夏至祭りに参加する為、6月20、21日、サハ共和国の夏至祭りツアーを実施しました。きっかけは「大野遼湖」でしたが、太陽信仰を体感する、未知の国・極寒シベリアサハ共和国でホームステイによる観光文化ツアーでした。

写真は、浅井正智、畠山禎、永田真一各氏から提供を受けました。



※「夏至祭り」は、「夏至」の翌日早朝の日の出からエネルギーをもらうための祭。遊牧騎馬民族に普遍的な「太陽信仰」でした。下記は「ティムの歓迎」「ホームステイの様子」「作家同盟訪問」「レナ川観光」です。





◎ **8月8日、足立原泰・音楽祭実行委員長、諏訪部勲・まちづくりネットワーク愛川代表と大野遼が
小野澤豊・愛川町町長と懇談**

中津川弁財天第5回愛川町音楽祭を初めて、愛川町の小野澤豊町長が聴衆として参加しました。小野澤町長は、予告なく愛川町文化会館に姿を見せ、サハ共和国との国際交流や太鼓文化再生のための「笛と太鼓の音楽祭」を鑑賞し、休憩時間の舞台あいさつで「大変感動した。町の行政に取り込みたいと考えている」と発言していました。懇談は、お礼を兼ねて、国際交流や音楽祭の意義と課題について知ってもらうために訪問したもので、小野澤町長は、小島正吾さんが撮影編集した記録DVDを「役所のラウンジのテレビで放映したい」と発言しました。今後、音楽祭だけでなく、まちづくりの政策についても協力していく考えで対応したいと考えています。当面の課題は、サハ共和国の子どもが来日した際の宿泊施設や送迎で、空き家の活用も検討したいと考えています。

◎ **アジアレポート拡充のためボランティアスタッフを募集します。お問い合わせください。**

◎ **ニュースレターへの感想をお願いします。**

発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：江藤セデカ
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343
支部愛川サライ 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314-1
TEL：046-285-4895 FAX：046-265-0167 E-MAIL：paf02266@nifty.ne.jp
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行〇一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ 会費、ご寄付はこちらへ。会費は正会員年間1口3,000円、学生会員1,000円、賛同会員2,000円。一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.org/>

2014 0801 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：30年を超えるサハ共和国との交流は、「大野遼湖」での民族音楽センター設置とユーラシアンクラブと愛川町の交流拠点整備に向けた新しい段階を迎えた。5年間で10倍の太鼓クラブ（太鼓以外の民族楽器を含む）となった「ティム」の指導者ハトラエフ夫妻は、来年以降年に2、3回子どもたちを派遣したいと語って帰国。私は、日本橋でのアジア・シルクロードフェス、来年の「300人の村の古代絵画展」、クラブの改革、中津川モンゴルフェスティバルの開催方法の再検討等、懸案が一杯で、対応できるかどうか。腹を据えて向かい合うしかないかな。レターの発行も、この忙しさに随分と間が空きました。取りあえず、ペースを戻すべく努力します（お）